



2021年2月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年10月8日

上場会社名 株式会社 アルバイトタイムス
 コード番号 2341 URL <http://www.atimes.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート本部長
 四半期報告書提出予定日 2020年10月9日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 堀田 欣弘
 (氏名) 金子 章裕
 TEL 03-3254-2501

(百万円未満切捨て)

1. 2021年2月期第2四半期の連結業績(2020年3月1日～2020年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第2四半期	1,511	36.4	320		320		313	
2020年2月期第2四半期	2,377	14.7	117	59.1	121	58.8	84	58.3

(注) 包括利益 2021年2月期第2四半期 318百万円 (%) 2020年2月期第2四半期 78百万円 (59.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第2四半期	11.86	
2020年2月期第2四半期	3.20	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年2月期第2四半期	5,008	4,506	90.0	170.74
2020年2月期	5,639	5,010	88.8	189.82

(参考) 自己資本 2021年2月期第2四半期 4,506百万円 2020年2月期 5,010百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期		0.00		7.00	7.00
2021年2月期		0.00			
2021年2月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年2月期の連結業績予想(2020年3月1日～2021年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,258	28.4	680		680		680		25.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年2月期2Q	32,237,249 株	2020年2月期	32,237,249 株
期末自己株式数	2021年2月期2Q	5,844,059 株	2020年2月期	5,844,059 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年2月期2Q	26,393,190 株	2020年2月期2Q	26,393,190 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

弊社では、例年開催しております投資家向け第2四半期決算説明会につきまして、当期は中止させていただきますことといたしました。

尚、本説明会の資料につきましては、後日当社ホームページにて掲載を予定しておりますので、ご高覧いただければ幸いです。

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大による影響からヒトやモノの動きが鈍化し、企業活動や個人消費が減少する等景気は厳しい状況で推移しました。

このような経済環境下、雇用情勢については、企業業績の不透明さや休業要請による飲食業、サービス業の活動停止等により採用の凍結等が生じており、当社の戦略地域である静岡県においては2020年8月の有効求人倍率が前年同月比0.68ポイント下降の0.88倍となり雇用環境の厳しい状況が継続しています。

このような状況において当社グループでは、新型コロナウイルス感染症による影響を大きく受けていない『ワガシャ de DOMO』の拡販施策を実施いたしました。また、当該サービスにおいては、株式会社タイミーが提供するすぐ働けてお金がもらえるスキマバイトアプリ「タイミー」や自社正社員向けWEB商品である『JOB(ジョブ)』、グループ商品である新卒向け求人サイト『TSUNORU(ツノル)』とのコネクトによるオプション商品の販売も開始しております。コストにつきましては求人紙媒体に係る直接コストの印刷費や流通費、求人情報サイトに係る広告販促費の圧縮、他経費の全面的な見直し等を図りました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、売上高は1,511百万円(前年同四半期比36.4%減)となりました。売上原価は604百万円(前年同四半期比21.0%減)、販売費及び一般管理費は1,227百万円(前年同四半期比17.8%減)となりました。新型コロナウイルス感染症拡大による売上高の減少額をコスト圧縮では補うことができず、営業損失は320百万円(前年同四半期は営業利益117百万円)、経常損失は320百万円(前年同四半期は経常利益121百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は313百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益84百万円)となりました。

セグメント別の業績(セグメント間の内部取引消去前)を示すと、次のとおりであります。

(情報提供事業)

情報提供事業では、採用管理システムを顧客に提供する『ワガシャ de DOMO』(サブスクリプション型課金モデル)の販売は拡大いたしました。しかしながら、雇用環境の悪化の影響を直接受ける求人広告メディアの売上高は下げ止まりの兆候はあるものの、前期水準までの回復にはいたりませんでした。また、通年開催しておりました合同企業面談会『シゴトフェア』の開催を中止したため、売上高は1,217百万円(前年同四半期比37.6%減)、セグメント利益は16百万円(前年同四半期比96.2%減)となりました。

(販促支援事業)

販促支援事業では、主たる売上であるフリーペーパーの取次において、発行媒体の廃刊や休刊により取次量が減少し、定期に発行しておりました園児を抱える子育てファミリー層向けクーポン冊子においても発行を中止せざるを得ず、販促支援事業における売上高は304百万円(前年同四半期比32.1%減)、セグメント利益は11百万円(前年同四半期比72.7%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は5,008百万円（前連結会計年度末比11.2%減）、負債が502百万円（前連結会計年度末比20.3%減）、純資産が4,506百万円（前連結会計年度末比10.1%減）となりました。また、自己資本比率は90.0%となりました。

資産の部では、流動資産が4,170百万円（前連結会計年度末比13.3%減）となりました。内訳として、現金及び預金が3,756百万円（前連結会計年度末比9.8%減）、売掛金が295百万円（前連結会計年度末比37.2%減）等となったためです。

固定資産は838百万円（前連結会計年度末比1.2%増）となりました。内訳として、有形固定資産が595百万円（前連結会計年度末比2.1%増）、無形固定資産が102百万円（前連結会計年度末比5.8%増）、投資その他の資産が141百万円（前連結会計年度末比5.3%減）となったためです。

負債は502百万円（前連結会計年度末比20.3%減）となりました。これは、未払金が281百万円（前連結会計年度末比31.1%減）、賞与引当金が65百万円（前連結会計年度末比6.4%減）等となったためです。

純資産は4,506百万円（前連結会計年度末比10.1%減）となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上、剰余金の配当により利益剰余金が4,587百万円（前連結会計年度末比9.8%減）等となったためです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて408百万円減少し、3,756百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は227百万円（前年同四半期は15百万円の支出）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失が320百万円、未払債務の減少額が139百万円等となった一方で、減価償却費が16百万円、売上債権の減少額が175百万円、法人税等の還付による収入が66百万円等となったためです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は5百万円（前年同四半期は35百万円の支出）となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出が4百万円、関係会社への貸付金回収による収入が20百万円等となったためです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は185百万円（前年同四半期は183百万円の支出）となりました。これは主に、配当金の支払額が183百万円等となったためです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年2月期業績予想につきましては、2020年5月22日に公表いたしました業績予想を修正いたしません。

なお、今後の業績の推移に応じて修正の必要が生じた場合には、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,164,982	3,756,346
売掛金	471,525	295,893
その他	175,628	118,194
貸倒引当金	△806	△405
流動資産合計	4,811,329	4,170,028
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	121,530	117,626
土地	444,475	444,475
その他(純額)	16,928	33,005
有形固定資産合計	582,933	595,107
無形固定資産		
ソフトウェア	85,933	91,550
その他	10,606	10,606
無形固定資産合計	96,540	102,156
投資その他の資産		
その他	156,835	149,333
貸倒引当金	△7,859	△8,196
投資その他の資産合計	148,975	141,137
固定資産合計	828,449	838,402
資産合計	5,639,779	5,008,430
負債の部		
流動負債		
未払金	409,086	281,995
賞与引当金	69,915	65,449
その他	150,660	136,972
流動負債合計	629,662	484,417
固定負債		
リース債務	—	17,635
固定負債合計	—	17,635
負債合計	629,662	502,053
純資産の部		
株主資本		
資本金	455,997	455,997
資本剰余金	540,249	540,249
利益剰余金	5,085,137	4,587,118
自己株式	△1,076,000	△1,076,000
株主資本合計	5,005,383	4,507,364
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,756	2,023
為替換算調整勘定	△3,023	△3,010
その他の包括利益累計額合計	4,733	△987
純資産合計	5,010,116	4,506,377
負債純資産合計	5,639,779	5,008,430

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年8月31日)
売上高	2,377,809	1,511,796
売上原価	765,289	604,325
売上総利益	1,612,520	907,471
販売費及び一般管理費	1,494,697	1,227,914
営業利益又は営業損失(△)	117,822	△320,442
営業外収益		
受取利息	100	65
受取賃貸料	420	420
助成金収入	—	6,198
持分法による投資利益	781	—
その他	5,119	4,084
営業外収益合計	6,420	10,768
営業外費用		
違約金	835	6,660
為替差損	832	742
持分法による投資損失	—	2,647
その他	1,300	1,088
営業外費用合計	2,968	11,139
経常利益又は経常損失(△)	121,274	△320,813
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	121,274	△320,813
法人税、住民税及び事業税	29,965	1,136
法人税等調整額	6,299	△8,683
法人税等合計	36,264	△7,547
四半期純利益又は四半期純損失(△)	85,009	△313,266
非支配株主に帰属する四半期純利益	541	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	84,468	△313,266

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年8月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	85,009	△313,266
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,084	△5,733
為替換算調整勘定	△1,566	12
その他の包括利益合計	△6,650	△5,720
四半期包括利益	78,359	△318,986
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	78,444	△318,986
非支配株主に係る四半期包括利益	△84	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	121,274	△320,813
減価償却費	22,298	16,850
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△703	△63
賞与引当金の増減額(△は減少)	△6,425	△4,466
受取利息及び受取配当金	△99	△65
支払利息	—	123
投資事業組合運用損益(△は益)	△2,808	△268
持分法による投資損益(△は益)	△781	2,647
売上債権の増減額(△は増加)	71,732	175,338
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,451	377
未払債務の増減額(△は減少)	△63,843	△139,387
未払消費税等の増減額(△は減少)	△20,028	△9,268
その他	△31,643	△17,604
小計	90,423	△296,600
利息及び配当金の受取額	11,586	10,577
利息の支払額	—	△123
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△127,948	△7,656
法人税等の還付による収入	10,074	66,696
営業活動によるキャッシュ・フロー	△15,864	△227,106
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,700	—
有形固定資産の除却による支出	△2,251	—
無形固定資産の取得による支出	△2,970	△4,911
関係会社株式の取得による支出	△2,000	—
敷金及び保証金の差入による支出	△4,699	—
敷金及び保証金の回収による収入	199	42
貸付けによる支出	△20,000	△10,000
貸付金の回収による収入	—	20,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△35,422	5,130
財務活動によるキャッシュ・フロー		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	—	△1,886
配当金の支払額	△183,085	△183,266
財務活動によるキャッシュ・フロー	△183,085	△185,152
現金及び現金同等物に係る換算差額	△832	△1,508
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△235,204	△408,636
現金及び現金同等物の期首残高	4,371,126	4,164,982
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,135,921	3,756,346

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

現在の新型コロナウイルス感染症拡大に関する影響から、ヒトやモノの動きが鈍化している中、雇用情勢については、企業業績の不透明さや休業要請による飲食業、サービス業の活動停止等による採用の凍結等が生じており、当社の戦略地域である静岡県においては2020年8月の有効求人倍率が前年同月比0.68ポイント下降の0.88倍となり雇用環境の厳しい状況が継続しています。

新型コロナウイルス感染症に関しては不確実なことが多く、感染症拡大防止の対応期間や影響について先の見通しが困難なところではありますが、当第2四半期の連結財務諸表作成時において入手可能な情報等を踏まえ、引き続き、人材採用活動については、当社グループの下半期(2020年9月～2021年2月)から緩やかに改善していくものと想定し、税効果会計などの会計上の見積りを行っております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	情報提供	販促支援	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,950,532	427,277	2,377,809	—	2,377,809
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	21,836	21,836	△21,836	—
計	1,950,532	449,113	2,399,645	△21,836	2,377,809
セグメント利益	432,448	42,456	474,904	△357,081	117,822

(注) 1. セグメント利益の調整額△357,081千円は、セグメント間取引消去2,220千円及び全社費用△359,301千円です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	情報提供	販促支援	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,217,901	293,894	1,511,796	—	1,511,796
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	10,846	10,846	△10,846	—
計	1,217,901	304,741	1,522,643	△10,846	1,511,796
セグメント利益又は損失(△)	16,634	11,588	28,223	△348,666	△320,442

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△348,666千円は、セグメント間取引消去2,239千円及び全社費用△350,905千円です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。